

令和7年5月9日

各 位

岩手大学獣医学部共同獣医学科
獣医公衆衛生学助教選考委員会
委員長 佐藤 至

教員候補者（女性限定）の公募について

謹啓

時下ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

この度、岩手大学獣医学部では助教候補者を別紙募集要項のとおり公募することになりました。つきましては、貴機関に適切な候補者がおられましたなら、ご応募くださるよう周知方ご高配を賜りたくお願い申し上げます。なお、貴機関以外の方でも適任と思われる方がおられましたなら、ご推挙いただければ幸甚に存じます。

敬白

国立大学法人 岩手大学獣医学部教員募集要項

1. **募集人員**：助教（テニユア・トラック） 1名（女性限定）
2. **所 属**：獣医学部共同獣医学科応用獣医学分野（学士課程）
大学院獣医学研究科（博士課程）
3. **専門分野**：獣医公衆衛生学

4. 教育担当科目

主たる担当科目は、公衆衛生学実習、食品衛生学実習、公衆衛生実践実習で、その他の専門教育科目並びに全学共通教育科目の一部も担当します。なお、本学科は東京農工大学共同獣医学科との共同教育課程を採用しているため、同大学所属学生の教育も担当します。また、大学院獣医学研究科（博士課程）における研究指導も担当します。さらに、獣医学部附属動物医学食品安全教育研究センターおよび獣医学部附属産業動物臨床・疾病制御教育研究センターの兼務教員として、両センターの教育研究活動にも参画します。

5. 応募資格

今回の公募にあたっては、次の諸項を満たす人物が望まれます。

- 1) 人格・識見に優れ、学部学生及び大学院生の教育・研究指導並びに地域貢献に意欲のある方
- 2) 博士の学位を有し、獣医公衆衛生学に関する広範な知識と研究能力を備え、優れた研究業績を挙げている方
- 3) 上記の担当科目である講義および実習を、獣医学教育モデル・コア・カリキュラムに準拠して行う能力のある方
- 4) 日本国の獣医師免許を有する方
- 5) 学部、学科、大学院及び附属施設の運営に積極的に参加できる方
- 6) 女性である方（必須、男女雇用機会均等法第8条に該当、本学における女性教員の割合が相当程度少ない現状を積極的に改善するための措置として、女性に限定した採用を行う）

6. 採用予定日

令和7年10月1日（水）以降できるだけ早い時期

7. 任 期

本公募で採用される助教はテニュアトラック教員となります。本学のテニュア・トラック制度は任期を5年間とし、採用3年目に中間審査、5年目にテニュア付与審査を行い、優れた業績を上げた場合には任期無しの雇用形態に移行します。

8. 待 遇

給与・手当：本学規定に基づき支給（年俸制、ただし退職手当は退職時に支給）

勤務時間：専門業務型裁量労働制、みなし労働1日7時間45分

保 険：雇用保険、社会保険、労働者災害補償保険及び文部科学省共済組合に加入

休 日：土日祝、年末年始等

9. 提出書類

- 1) 履歴書（写真貼付、署名・捺印のあるもの、Eメールアドレスも記載）
- 2) 研究業績目録（様式は別紙または岩手大学ホームページ参照）
- 3) 主要論文別刷（5編以内）
- 4) これまでの教育経験および着任後の教育に関する抱負（1,000字程度）
- 5) これまでの研究の概要と着任後の研究に関する抱負 1部（1,000字程度）
- 6) その他参考事項（外部資金獲得実績（代表分担の別）、公的委員、その他の特記事項）
- 7) 人物照会が可能な方2名の氏名及び連絡先（電話番号及びメールアドレス）

10. 提出期限

令和7年7月15日（火曜日）必着

11. 選考方法

一次選考（書類審査）を通過した候補者について、面接（プレゼンテーションを含む）による最終選考をおこないます。その際の旅費等の経費は自己負担になります。

これまで、ライフイベントのための休暇・休業（産前産後休暇や育児休業、もしくは介護休業）を修得していた場合には、選考過程で考慮しますので、その旨を履歴書に明記してください。

12. 若手教員に対する研究費支援

テニユア・トラック教員（講師・助教）に対し、研究費として、採用日から2年間分最大200万円を一括支給します。

13. 女性教員採用促進に関する取組

岩手大学はダイバーシティを推進しています。このため本公募に関し以下の取組を実施します。

- ・女性限定採用
- ・最大20万円の定着支援経費（研究費）の支給：本学に赴任する女性講師・助教に対し、研究費として、採用日から2年間分20万円を一括支給します。
- ・産前産後休暇，育児休業又は介護休業を取得していた場合は（性別不問。ただし，履歴書に取得期間を明記すること），選考の過程で考慮します。
- ・ワーク・ライフ・バランスに関する各種支援：<https://diversity.iwate-u.ac.jp/support/wlb/>
両住まい手当制度，次世代育成支援（出産・育児との両立支援）・介護支援，学内保育所，学内保育スペース等
- ・女性研究者のキャリア支援：<https://diversity.iwate-u.ac.jp/support/womenresearchers/>
研究支援員・補助員配置制度，女性活躍変形バイアウト制度，女性研究者グローバルキャリア支援海外派遣制度等
※文部科学省ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ「女性リーダー育成型」を活用した支援を
随時実施予定：<https://iwatewomensleadership.iwate-u.ac.jp/>

14. 応募書類提出先および問い合わせ先

応募書類は，電子メール（E-mail）で下記アドレスへ送信してください。

E-mail: satoital@iwate-u.ac.jp

岩手大学獣医学部獣医公衆衛生学助教選考委員会

委員長 佐藤 至 宛

Tel: 019-621-6131

応募書類は，それぞれPDF形式のファイル（パスワードを設定）にしてメールに添付の上，送信してください。パスワードの連絡方法は応募者にお任せします。添付のファイルサイズは20MB以内としてください。ファイルの大きさが20MBを超える場合は，複数に分けて送信願います。メールの件名は「獣医公衆衛生学助教応募（応募者氏名）」としてください。メールの受領後3日以内（土日祝日などを除く）に受領した旨の返信がない場合は，上記にお問い合わせください。なお，応募資料は本審査に関するものにのみ使用します。
岩手大学教員公募HP：<https://www.iwate-u.ac.jp/target/faculty-recruitment.html>

「研究業績」の作成について

獣医学部学部運営委員会

研究業績は、A4判の用紙に A.著書・訳書、B.学位論文、C.総説・論説、D.原著論文 (a)学術雑誌*¹、(b)紀要*²、(c)プロシーディングス、E. その他*³、F. 報告書・事業報告書等*⁴、G. 特許・設計等、H.国際学会発表*⁵、I. 国内学会発表*⁵の順に、下記の例を参考にして作成してください。例えば総説・論説がない場合は、C. 原著論文のように繰り上げてください。マージンは左右上下約3cmに設定し、1行35～40字で40行程度（日本文の場合フォントのサイズは10.5～12程度）にしてください。

- * 1：学会誌、国際誌等を年代順に記載する。
- * 2：試験場報告、研究所報告等を含む。
- * 3：商業雑誌、資料等を記載する。
- * 4：調査報告書、科学研究費報告書、事業報告書等を記載する。
- * 5：最近5カ年について記載する。（教授選考の場合、I. 国内学会発表は不要）
- * 6：著者名にアンダーラインを付ける。なお、単著、筆頭著者及びコレスポンディングオーサーあるいは筆頭著者とイコールコントリビューションである場合は二重のアンダーラインを付ける。ただし論文にその記載がある場合に限る。
- * 7：英文で著者名を記載する場合は、下記のようにする。
I. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)
- * 8：学名にはアンダーラインをつけるか、またはイタリックで記載する。
- * 9：論文番号は全角、英数字は半角にする。また、巻数はボールド（太字）とする。
- * 10：Journalは略記する。
- * 11：発行又は発表予定として記載可能なのはin press か accepted のみとする。

〈記載例〉

研 究 業 績 (著書・学術論文等)

A. 著書・訳書

1. 岩手一郎 (単著) (1990)

農学について. ○○出版社, 東京, 100p.

2. 岩手一郎 (分担執筆) (1991)

北上山地における畜産業, 「岩手の農業」(大学太郎, 学部一郎編), △△堂, 盛岡, pp.10-20.

3. 岩手一郎 (分担翻訳) (1992)

トウモロコシ, 「アメリカの農業」(A.B.Carter 著, 大学太郎監訳), ◇◇社, 東京, pp.20-30.

4. Iwate, I. and Morioka, J. (分担執筆) (1993)

Agriculture in Japan, "Agricultural Sciences"(Eds.: D. E. F. Green and H.I.James), Bio Press,London, pp.20-30.

B. 学位論文

1. 岩手一郎 (1980)

X Y Zに関する研究. [◇◇学修士または修士 (◇◇学) ○○大学]

2. 岩手一郎 (1983)

A B Cに関する研究. [◇◇学博士または博士 (◇◇学) ○○大学]

C. 総説・論説

1. 岩手一郎 (1994)

岩手における野生動物の分布. 岩手の自然 No.3 : 1-5.

2. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1995)

岩手山の植物分布. 岩手植物誌 15 : 215-220.

D. 原著論文

(a) 学術雑誌

1. 岩手一郎 (1985)

岩手の野生動物に関する研究. 日動学誌 5 : 15-20.

2. Morioka, J., Iwate, I. and Akita, N. (1986)

Distribution of wild animals in Iwate Prefecture. Jpn. J.Anim. Sci. 20 : 100-105.

3. Iwate, I. (1990)

Calcium metabolism in laying Japanese quail (*Coturnix coturnix*)

japonica). Jpn. Avian Physiol. **25** : 15-20.

(b) 紀要

1. 岩手一郎 (1985)

トウホクヤマネズミの生態について. 岩手大農報 **17** : 30-40.

(c) プロシーディングス

1. Iwate, I., Morioka, J. and Akita, N. (1995)

Mode of life of Japanese macaques in northern Japan. Proc.
5th Int. Cong. of Wild Animals, Berlin, pp.101-102.

E. その他

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1990)

北上山系におけるニホンカモシカの生態調査. 野生動物 No.125 : pp.35-45.

F. 報告書・事業報告書等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシのPCB汚染. 自然動物調査報告 (△△県), pp.10-11.

G. 特許・設計等

1. 盛岡次郎, 岩手一郎 (1993)

イヌワシ捕獲装置 特許第 1234567 号

2. 岩手一郎 (2000)

◇◇◇ 特願 2000-123456 特開 2002-123456

H. 国際学会発表 (最近5か年)

1. Morioka, J. and Iwate, I. (1996)

Ecological study of wild animals in Japan. 5th Int. Anim. Ecol., New York.

I. 国内学会発表 (最近5か年)

1. 岩手一郎, 盛岡次郎 (1997)

岩手の野生動物. 第100回日本野生動物学会講演要旨 : 25-26.